

令和5年度「八代市学校・子ども教育応援基金」の活用状況

お寄せいただきました寄附金につきまして、令和5年度においては、子どもたちの学びを支援するための事業として、次の事業へ、総額 644,047 円を活用させていただきました。

●ICT 教育推進モデル校事業（第二中学校）

ICT の効果的な活用による授業力の向上を図りました。また、各学年の代表授業及び授業研究会を行い、研究の視点に沿って学力向上と ICT の活用について協議し、研究の深化を図りました。さらには、ICT 教育推進モデル校として研究発表会を行いました。数学、道徳、総合的な学習の時間の研究授業を行い、ICT の活用について研究協議し、研究の成果を発表しました。ICT を職員・生徒ともに活用する機会が多くなり、ICT がより身近に感じられるようになるとともに、様々な活用方法を見出すことができました。今後も学習効果や学力向上について成果が出るよう、更なる研究・研修を継続し、学習支援のための ICT 活用として、不登校生徒へのリモートによる学習参加や学習支援アプリの活用により、家庭学習の充実を図るとともに、誰一人取り残さない学びの保障について研究を深めます。【寄附金充当額 48,675 円】



●ICT 教育推進校事業 ー小学校ー

（郡築小学校）児童の学力向上に向けて、ICT を効果的に活用した授業改善を柱とした取組を進めました。研究授業（年3回）、ICT を活用した実践報告会（年2回）、e ライブラリやスタディサプリを活用した基礎学力定着のための取組「ぐんぐんタイム」（毎週木曜日の朝自習）を全校で行いました。また、タイピング技能の向上を図る取組も行いました。ICT を活用して考えを意図的に可視化することで、自分の考えを分かりやすく整理できるようになり、タブレットを提示しながら自分の考えをより分かりやすく発表できる児童が増え、児童同士の対話がこれまで以上に活発になりました。【寄附金充当額 19,759 円】

（金剛小学校）「授業におけるタブレット活用」について校内研修を実施しました。ICT 機器を活用した実践事例について知識を得たり、学び合いアプリを活用した学習活動について演習を行ったり、ICT 機器活用スキルの向上に努めました。端末使用状況（3 か月ごとのログイン数）は、市の平均を大きく上回りました。学校情報化優良校再認定に向けての取組を整理し、1 月に再認定を受けました。具体的な取組については、「ICT 活用実践事例集」を八代市教育委員会に提出し発表しました。

【寄附金充当額 19,666 円】

（八竜小学校）ICT 機器の効果的な活用を図った児童の表現力向上を目指し、授業改善に取り組みました。外部から講師を招き、1 人1回の研究授業を実施し、授業力の向上を図りました。また、「ミニ ICT 研修会」を年間5 回実施し、実際にアプリを操作することによって、知識と技能の向上を図り、授業にも活用することができました。これらの取組を「ICT 推進校実践事例」としてまとめ、市内の各学校に配信しました。【寄附金充当額 20,000 円】

●授業研究活動推進事業（麦島小学校）

研究主題「児童を主役にする授業・高め合う学級集団の確立～授業改革と自治的集団の育成を通して～」について、研究を行いました。授業では、できるだけ教師の出番を抑え、児童が話し合ったり考えたりする場面が多く見られました。自治的集団の育成では、学級会の共通実践を行いました。生活の課題について自ら考え、行動する機会を設けたことで、互いに声をかけ合い、進んで行動しようとする学級風土を育成することができました。【寄附金充当額 13,520 円】

●教職員研修会事業

教職員の指導力及び資質向上、保護者の家庭教育における重要性を啓発することを目的に「年頭研修会」を行っています。オンデマンド配信で視聴できるようになり、教職員や保護者が都合の良い時間に繰り返し視聴できるようになり、参加者から高評価を得ています。【寄附金充当額 30,000 円】

●QUテスト拡充事業

QUテストは「楽しく学校生活を送るためのアンケート」調査です。

本基金事業では、小学校1・2年生を対象に年2回実施します。

※3～6年生は熊本県学力・学習状況調査においてi-check（総合質問紙調査）を実施しています。

（八千把小学校）6月に1回目を実施し、結果を分析し学年間でも共有したことにより、学級経営だけではなく学年経営の見直し及び改善につながりました。12月に2回目を実施し、「心のアンケート」及び教育相談も実施しました。2つの結果からより細かく実態を把握することができました。今後の不登校やいじめの早期発見・未然防止のためにもつなげていきます。

【寄附金充当額 259,200円】

（郡築小学校）結果をもとに、各学級での取組について検証し、個別の教育相談等を実施しました。また、学級全体で児童が安心して生活が送れるようにするための支援策について、校内で検討し取組を進めてきました。多くの児童が落ち着いて学校生活を送っています。各学級の児童の実態を客観的に捉えるとともに、各学級での課題解決に向けた取組を学校全体で進めていくための資料として大いに役立っています。【寄附金充当額 37,800円】

（有佐小学校）本校児童は6年間一度もクラス替えを経験せず、ほとんどが鏡中学校に進学します。人間関係があまり変わらない中で6年間を過ごすため、学校内での人間関係づくりがとても大切です。QUテストを行うことで児童の実態や集団の様子を把握し、人間関係づくりに役立てることができました。継続して児童の成長に努め、スムーズな中学校生活にも繋ぐことができました。【寄附金充当額 20,640円】

（泉小学校）QUテストにより、友人や学級との関係、学習意欲などの面で児童一人一人がどのような考えをもっているのかを把握することができました。また、集団形成に必要な対人関係を営むためのソーシャルスキルが、児童一人一人にどの程度身に付いているのかを把握することができました。テスト結果から得られた学校全体及び学級の傾向を基に、これまでの学級経営を振り返り、児童一人一人の実態に応じながら、意欲的に学校生活を送ることができるよう支援していきます。

【寄附金充当額 8,640円】

●不登校児童生徒の適応指導事業

「オリジナルカレンダー」の制作は、八代市教育支援センター「くま川教室」の取組の一つです。通級生の集中力や忍耐力等を育み、人間関係づくりを学ぶ機会となっています。完成したオリジナルカレンダーを保護者や、お世話になった関係団体等に配付し、感謝の気持ちを伝えることは、通級している生徒自身の自己有用感を高めるよい機会となりました。

【寄附金充当額 63,748円】

●歯と口の健康づくり事業（宮地小学校）

児童保健委員会の活動として、6月に「歯とロいきいきキャンペーン」、11月に「歯ッピーウィーク」として「ファミリーはみがきカレンダー」を実施するとともに、昼休みにクイズ大会を1週間実施しました。児童主体の活動を充実させたことにより、児童一人一人の意識が高まりました。また、情報提供等のために、歯と口に関する掲示物を校内に設置したりしました。その結果、むし歯の治療率が昨年度を大きく上回りました。【寄付金充当額 63,297円】

●ICT教育推進校事業 — 中学校 —

（第六中学校）朝自習や各教科の授業、宿題等、様々な場面で生徒の個人タブレットPC活用を促進しました。その成果として、スタディサプリの活用率が前年比で90%以上高まりました。スタディサプリの活用が活性化した影響もあり、家庭学習機会の伸長や授業への集中力の向上が見られました。仲間づくりに関しては、熊本県が実施した「心のアンケート」では、いじめ事案は0であり、不登校児童生徒も昨年度より半減し、改善がみられました。

【寄附金充当額 19,240円】

（千丁中学校）週2回、朝自習の時間にタブレット学習の時間を確保し、スタディサプリアを活用した授業の振り返りや補充的な学習を行うことができました。少しずつ習慣化され、生徒の意識も変化してきました。自主的に入試の過去問題を解く3年生や、理解が不十分なところを復習したり、言葉を意味などを調べる生徒が見られ、自分自身の理解度に応じて意欲的に使おうとしている生徒が増えました。【寄付金充当額 19,862円】